

4月21日  
取次搬入

# 『すべての雑貨』 著者 三品輝起

すべてが雑貨のように見える社会を論考する、新しい消費文化論。

「だけど雑貨と呼ばれる一群が日本中の売り場という売り場を、これほどまでに占拠する日をだれが想像したでしょうか。」（「予告された雑貨の記録」より）

町から専門店が消え、駅ビルや複合商業施設には無数の雑貨店が入居しています。書店にも100円ショップにも雑貨は並んでいます。なにを見ても「かわいい」と思う**雑貨的感觉**。フィギュアもかわいいし、仏像もかわいい。本もかわいい。20世紀にはなかったこの感じ。**雑貨化した社会**。そもそも雑貨とはなんなんでしょう。

本書は、東京・西荻窪の人気雑貨店「FALL」を経営する三品輝起さんが書き下ろす、本邦初の本格的雑貨論です。原宿の文化屋雑貨店、デンマークのレゴ、ムーミン、クンデラ、ガルシア=マルケスらを引用しながら雑貨の来し方・行く末を考える縦横無尽の論考は新鮮で、読んでみると知恵熱が出ます。雑貨屋店主による、自伝のような、エッセイのような、考現学のような、真新しい消費文化論。かつこいいですよこれは。

価格：2000円＋税／288頁／

四六版変形上製／ISBN 978-4-904816-23-3 C0036

取次：JRC（すべての取次からの搬入が可能です）

著者：三品輝起

1979年愛媛県出身。西荻窪の雑貨店「FALL」店主。ミニコミ誌「な nD」などに雑貨論を寄稿。本書が初めての著書となる。

すべての雑貨  
三品輝起



夏葉社

すべての雑貨

三品輝起著

発行 夏葉社 ISBN 978-4-904816-23-3 C0036 本体2000円＋税

ご担当者様

冊

貴店番線印

ご注文は JRCへ FAX：03-3294-2177 電話：03-5283-2230

発行 株式会社 夏葉社 TEL/FAX 0422-20-0480 東京都武蔵野市吉祥寺北町1-5-10-106